

毎日の食事は 断然“食パス”が便利でお得！

「生協・共済加入 食パスのご案内」パンフレット作成時（24年11月）よりも、米の仕入価格が2倍強になるなど、食材の仕入価格が急騰し、食堂商品および食品の価格改定を行わざるを得ない情勢のため、

緊急食生活支援策として、

販売価格据え置きで 1日利用上限額を引き上げます

<パンフレットでご提案した内容からの改定内容>

基本A/いつでもプラン 1日利用上限額 660円 → **680円**

基本Bプラン 1日利用上限額 1,320円 → **1,360円**

- 2025年度お支払い金額として従前にご案内している価格を変更いたしません
- 2025年度に限った運用となります
- 土曜日や祝日の営業など昼営業のみの日は、基本Bプランの方も680円が利用上限となります



POINT!

食パス3つの安心ポイント

1. いつでも・どこでも生協の食事が利用できる

食堂メニューだけでなく、持ち帰り可能な購買商品も対象！

平日は朝食から夜食まで、土日祝の食事も含めて毎日の食事を生協にお任せください！

2. 1年分の食費を確保！&繰越制度で損なし！

食パスはプラン別の利用可能分の食費を一括前払いするから、生活費と食費を分けられます。

物価が高騰している時だからこそ、食パスを上手に使って、お財布を気にせず、かしこく食事しよう！

3. 利用履歴で栄養価確認して健康維持も◎！

生協で食事をするとうカロリーや栄養価も確認できるので、おのずとバランスの良い食事が身に付きます！

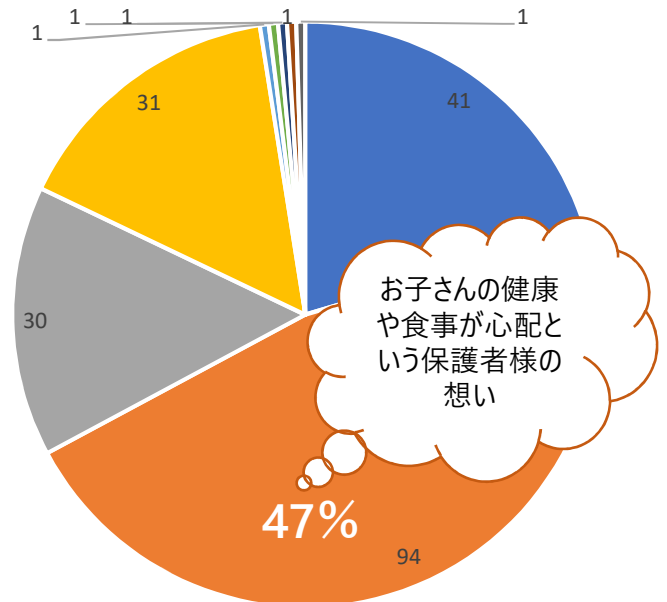
24年度利用者 & 保護者の声

24年度は全体で4,657名、1年生は1,418名と7割の方が利用されました。25年度推薦合格者も7割の方が申込されています。



食パスを申し込んだ理由

- お得だと思ったから
- きちんとした食事が摂れそうだから
- 事前に食費を確保できるから
- 自炊・または弁当持参が難しかったから
- 周りの友人に合わせた
- 食堂でお昼ごはんを食べたかったから
- 説明会で勧められたから
- 便利だから
- 本人が希望したから



次年度も申し込みたいと考えている理由(抜粋)

- 安価でバランスのとれた食事ができる
- 一人暮らしで料理も苦手なので助けているから
- 一年分、金銭的にもお弁当の心配も煩わしさもなくとても助かっています。
- 栄養面、ボリュームともに安心できる
- 基本的に残高を考えなくてよい
- 金額を気にせず食べられるので
- 繰越できる、食事代をこまめに渡さなくて良い
- 月ごとの昼食代を気にしなくて良い点。あと、何食べたか話してくれる時は家族での会話も広がる点。
- 現金でないため、使用用途が大学の食堂でしか使えないこと。大学へ行くことの理由にもなるかと。
- 限度額がちょうどいい。手持ちがなくてもスマホさえあれば、いつでも満足に食べられるからいい。
- 財布を気にしなくても食べる場所があるという安心感
- 仕送りの額が食パスの分だけ減らせるのでありがたいです。光熱費の節約にもなり助かっています。
- 子どもがよく利用しているから 残った分を次年度に繰越せるから
- 子どもが便利だと思っているので。
- 自炊するより価格的に安い。
- 通学時間が6時前なので朝の忙しい時間の短縮できるのが助かってます

お財布を気にしなくてもいいという安心感や食べたいものを食べられるという楽しみ、卒弁して忙しい朝の負担軽減などが多いです